

衣料品等商品向け通い箱配送についてのご提案

背景

- ① 従来はワンピース・スーツ・コートなどの重衣料が多く、ハンガー納品が主流であった。
- ② ファストファッションなどのビジネスモデルに変化してきたことにより、シャツ・ニット等の袋物衣料が増加し、納品用ダンボール箱の年間使用量が増加してきた。
- ③ 平均調達費用は@140程度。年間使用枚数が多く、使い捨てで廃棄コストもかかっているため収益率に対する比率が高い。

提案

梱包用ダンボール箱をe-ボックスに変え大幅な収益率アップを目指しませんか。

e-ボックスとは？

軽量で折り畳むことができ、200回以上繰り返し使える通い箱です。

e-ボックスの中に折畳んだe-ボックスが9個収納でき、10個で1梱包できます。

シュミレーション1

条件：50店舗展開、1店舗当たり50箱を3日毎に委託物流会社の専用便にて出荷。

①段ボール箱の場合

$2,500 \text{箱} (50 \text{店} \times 50 \text{箱}) \times 120 \text{回} (360 \text{日} \div 3 \text{日}) = 30 \text{万箱}$

$30 \text{万箱} \times @140 = \text{毎年} 4,200 \text{万円の年間購入費がかかっている。}$

②e-ボックスの場合（配送便にて回収）

$2,500 \text{個} \times 2 \text{回転} = 5,000 \text{個}$ で対応。

$5,000 \text{個} \times @5,700 = 2,850 \text{万円}$

初年度は $4,200 \text{万円} - 2,850 \text{万円} = 1,350 \text{万円}$

2、3年目は各 $4,200 \text{万円}$ 購入費がダウンできる。

シュミレーション2

条件：50店舗展開、1店舗当たり50箱を3日毎に委託物流会社の専用便と路線便を半々にて出荷。

②e-ボックスの場合（配送便にて回収）

$2,500 \text{個} \times 2 \text{回転} = 5,000 \text{個}$ で対応。

$5,000 \text{個} \times @5,700 = 2,850 \text{万円}$

回収コスト $250 \text{個} \times @500 \times 60 \text{回} = 750 \text{万円}$

初年度は $4,200 \text{万円} - 2,850 \text{万円} - 750 \text{万円} = 600 \text{万円}$

2、3年目は各 $4,200 \text{万円} - 750 \text{万円} = 3,450 \text{円}$ 購入費がダウンできる。